



みどりの杜俳句会

秋雨の小降りとなりて町はずれ みんみんの俄に高し雑木山 夏の雨木の間明るくなりながら 観音の山裾木下闇深し 百日紅残花のピンク杜小道 台風余波の雲切れ青さ空のぞく 杉木立静かや夏の雨つづく 白萩の枝先下がり山斜面 みんみん蟬あづま屋側に声激し 幸せや四方賑はず蟬の声 軒下にすだれ吊して鎌研げり 株立ち萩崖に紫小花かな 山畑のオクラの伸びて柔かし 迷ひ萩夜の裏山へ逃がしけり 早朝の沼青さぎの羽広く 雨上り我顔映るなすびかな 百日紅仰ぎ歩行りハ出発す 枝先の青毬栗や拳大 夜の田の蛙合戦けたたまし 宮前の溪流河鹿良く鳴くよ	佐山けさ子 飯野はつ志 鈴木 啓子 梅沢きくえ 西 つる 本間 弘子 竹内 礼子 田村 好子 吉田 愛子 今村千鶴子 高橋 ツ子 落合 七郎 関口 侑子 野口利江子 岡部富美子 鯨井 和枝 小林 和幸 土屋 厚子 初雁 功子 山田 美子
--	---



人権シリーズ

【どうする 呼び捨て?】

408

「大谷 打ったー! センターへ大きなあたり。入ったー! ホームラン! 翔平また打ちました。」と実況担当のアナウンサー。世界中で注目をあびる「エンジェルスの大谷選手」。今年もバッターとして、ピッチャーとして、二刀流での大活躍である。

みなさんはこの実況を聞いて、何か気になることがありませんか? そうです。プロ野球の中継でのアナウンサーや解説者のほとんどが、選手を呼び捨てにしているのです。私自身、子どものころ、「好きな選手は誰?」と聞かれ、「巨人の王(おう)」と答えていました。当時の私も選手を呼び捨てにしていたのです。それはテレビの影響かもしれません。

話は変わりますが、私は長い間、中学校の教員をしていて、初任当初から子どもたちを呼び捨てしていました。当時はそれが当たり前のようだったのです。その後、さまざま研修を受ける中で、子どもたちを「○○さん、○○くん」と呼ぶようになり、何か月か経つうちにこのことが自然になつていったのです。定年前には、小学校にも勤務しましたが、小学校では子どもたちを「○○さん」と呼んでいました。

さて、みなさん。冒頭で書いた野球の実況をどう思いますか? 「大谷選手、大谷投手、大谷さん」と呼んではどうでしょう。いつもプロ野球を見ていて感じたことを書いてみました。この内容がきっかけとなり、いつか、プロ野球中継で選手を呼び捨てにしない日が来ることを願っています。

学校教育指導員 菊地 昭男
※去る8月25日にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

アートの世界

坂本地区「虎山の千本桜」にて。山のように咲いた桜から太陽が顔を出す場面を撮影したものです。上部の桜が夜明け前の暗さを表し、下部の桜の山が朝日に照らされたような写真が真昼に撮れました。

写真は人によっていろいろな見方ができると思います。これをご覧になった方がどのように感じるのか、ワクワクしながらいつも撮影を行っています。



「花山の日の出」
撮影者 植松 敦子さん (奥沢)